

学力向上に向けた取組

函館市立駒場小学校

1 課題

本校の児童の実態から次のことが課題としてあげられる。

- ①学習の約束の徹底
- ②個人差に対応した指導方法の工夫
- ③表現力・活用力の向上
- ④家庭学習の取組

2 課題解決の具体策

課題の解決策として、下記の取組を中心とし計画的に取り組むこととした。

- ①「家庭学習のてびき」を配付
- ②学力向上プランの策定と推進（学力の押さえ 計画的な取組の具体など）
- ③学習常規の見直しと徹底
- ④2つの公開研究会の実施

3 取組の概要

「学力をはぐくむ4つの葉」との関連から取組の概要

- ①規則正しい生活習慣・学習習慣の形成
 - ・「家庭学習のてびき」を配布し、家庭との連携を通じた取組。
 - ・家庭学習の取組について共通理解をし、実態や発達段階にあった各学年の取組。
 - ・全教職員による朝の挨拶指導。
- ②学校組織・指導体制の改善
 - ・国際理解教育と外国語活動を校内研究テーマとし、研究活動の充実。
 - ・国際理解教育と外国語活動の研究会を開催し、研究実践の検証。
 - ・個人差に対応した指導法として、習熟度別学習や少人数学習の研修。
 - ・「知恵の予算を」利用し、支援員を確保し学習指導を支援してもらうことで、より一層の指導の充実に図った。
- ③望ましい学習態度の育成
 - ・学習常規を実態にあったものに見直し、6年間を見通した指導の徹底。
- ④基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用
 - ・読書活動の充実
 - ・朝自習を計画的に実施し、学習活動としての朝自習の実施。



4 成果と課題

- ①各種調査等から概ね学習内容は定着しているようである。家庭学習の取組もこの1年間で定着してきている。
- ②学習常規を見直したことで、学習へ落ち着いて、また集中して取り組める傾向にある。教師側も授業がスムーズに行えるようになってきたと評価している。
- ①学力や学習態度に差が見られる。より一層習熟度別学習や少人数学習など指導法の改善に努めたい。
- ②今年度はこれらのことについて年度途中で反省をしての取組をしたが、来年度以降も継続的・計画的に実践を継続し、学習成果等を検証していく必要がある。特に来年度は学級経営案との関連の中で各クラスの学力向上プランを作成する取組をすることになっている。